

図書だより

仙台市立川前小学校図書館

No. 1 2

2023 年 3 月 9 日 (木)

16日がラスト!

しばらくおわかれです

弥生3月になり、校庭では、チューリップやスイセンの芽が出てきています。春がそこま
で来ています。令和4年度もう少して終わります。この1年、すてきな本との出会いもた
くさんあったことでしょう。1年のまとめの学習に読書活動もぜひ加えてください。図書室
の本の貸し出しは、3月8日(水)が最終日でした。4月までしばらく図書室ともお別れです。

心も体も大きく成長したこの1年。図書室のたくさんの本との出会い、そして本のすば
らしさを伝えてくださった方々との出会いも、みなさんを成長させてくれたことでしょう。
そんなすてきな本と、お世話になった方々に、「ありがとう。そして、さようなら。」

15日までに必ず返してね!



2 年間読書賞



2 学期読書賞 (30 冊以上) 251 人

2 学期スーパー読書賞 (60 冊以上) 37 人

年間100冊読書賞 (100 冊以上) 66 人

年間クラス読書賞 (図書室貸出冊数 2,000 冊以上)

2 年 1 組 3,029 冊 4 年 2 組 2,695 冊

3 年 2 組 2,626 冊 他 5 クラス 計 8 クラス

一人当たりの貸出冊数……全校の平均は 61.7 冊

2 年生 91.2 冊 3 年生 86.1 冊 4 年生 71.6 冊



震災とその後

2月6日。トルコ・シリアで大きな地震が起きました。トルコと日本は、130年以上も前から続く友好国です。明治時代に、トルコの船が和歌山県沖で遭難したときに、日本人が助けてあげました。それから、災害や事故など、大変なことが起きたときにはお互いに助け合ってきました。

東日本大震災のときには、トルコはいち早く救援物資を届けてくれました。そして、宮城県にきた救援隊は、世界の国々の中でも一番長く宮城県にいて救援活動をしてくれたそうです。今度は日本が助ける番です。

3・11に何が起きたのか。絵本や物語、防災の本などを用意しました。この機会に本を読んで、震災とその後のことを知しましょう。



古くから人々を守り、親しまれてきた高田松原の七万本の松も津波に流されてしまった。その中で一本だけ生き残った松の物語。



震災直後の海に、生き物はいなくなりました。あるのは流されてきた家や道具などばかり。4年間、宮古の海を撮り続けた写真絵本です。「奇跡のダンゴウオ」を探してみよう。

『奇跡の一本松 大津波をのりこえて』

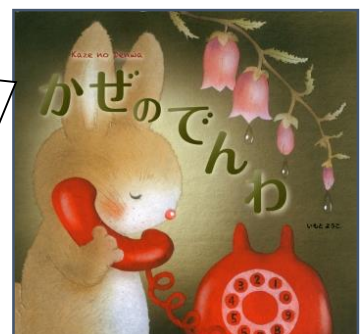
なかだ えり／絵・文 汐文社

『ダンゴウオの海』

鍵井靖章／文・写真 フレーベル館



震災で亡くなった人はおよそ2万人います。会えなくなってしまった人とつながる電話が、山の上にあります。そこで…



「ラン、おるすばんだよ。すぐ帰るからな。」大きな地震の後、健ちゃんと家族は愛犬を置いて避難します。でも、家族はなかなか帰って来れません。地震の被害にあったのは、人間だけではありませんでした。動物たちはどうなったのか…。

『長いおるすばん』

志賀 伸子／文 文芸社

『かぜのでんわ』

いもと ようこ／作 金の星社